レッスン：PYR No.77

テーマ：サイコノエティカル体とサイコノエティカルの諸世界

PYR77 KE08 S4 4/12

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

Q：サイコノエティカル体は肉体の良い健康を意味すると理解していますが、しかし肉体に対するマッサージもまたサイコノエティカル体に影響を与えることができます。このプロセスについて何か話してくれますか？また痛み、苦しみが学びおよび健康を取り戻すこととどのように関係しているのかを話してください。

K：肉体に、あるいは痛みの軽減に対する助け、それは原因結果の法則がそれを助ける場合にのみ与えられます。確かに、ある人に筋肉痛がある場合には、均衡をもたらして筋肉をリラックスさせることによって助けることができます。しかし、もしその痛みがその人を原因結果の法則に縛り付ける厳しい原因によるものであり、その結果を蒙らねばならない場合には、あなたが何をしても助けにはならないでしょう。しかし、もし誰かが原因結果の法則と共に働くなら、その場合には違ってきます。なぜなら、そのパーソナリティーが痛みを背負うことができるからです。

Q：これは私の体験なのですが、その相手と話すことによってその人の周波数を変える助けになります。

K：そうです、なぜなら相手と話すことによってその人の肉体ではなくサイコノエティカル体に、そのパーソナリティーに助けが直接に与えられるからです。

Ｑ：その他のテクニックについてはどうですか？

Ｋ：私は、何であれパワーと能力を得ることに関係して即座の結果を約束するものに関しては、それを信頼すべきではない、と述べるだけにとどめ、いかなるメソッドにも言及しません。人々を助ける能力は多くの時間と多くの転生を重ねた結果としてそのような能力に到達するのです。それ以外の助けをもたらすメソッドはそのパーソナリティーを通じたものではなく、エレメンタルを通じたものであり、それはその人のエネルギーを食べているのです。あなたはそのエネルギーを与え、彼等はその現象を行ってあなたをだまし、あなたがその現象を行っていると思わせるのです。そのようなだましの行為は長い間続くかもしれませんが、しかし最終的にはそれらのエレメンタルたちはそのパーソナリティーの全てのエネルギーを奪い、最終的にはアンバランスなステートに陥り、自殺を図ったり、単に死んでしまう場合もあります。

Ｑ：私の生体エネルギーの体験によると、筋肉の痛みを軽減することによって感情的痛みを減少させることができます。

Ｋ：私が述べたように、もし法則が許せば、それも起こりえます。肉体には何千というセンターがあり、それらは筋肉が平衡状態になるのを助けます。そしてそれらのメソッドのなかにはハリなどの昔からのシステムもあります。しかし、それらのメソッドによって問題の原因に到達することはできません、そのためにそれらの治療は何回も何回も繰り返される必要があるのです。

　ハリ治療などのようなシステムは簡単にマスターすることはできず、またスピリチュアルなメソッドとみなすことはできません。その危険性とは、背骨に非常に近いところに働きかけるので、もし最初に塩の堆積物が取り除かれないと、危険が生じることがあります。

Ｑ：なぜ意識のセンターが太陽神経叢とハートで、頭ではないのですか？

Ｋ：意識のセンターは太陽神経叢とハートです；

ハートのセンターは意識とロゴス的なもの両方であり；

頭のセンターは完全にロゴス的なセンターです。

そしてこれは現在のパーソナリティーにおいてのみです。なぜなら現在のパーソナリティーとはサイキカル及びノエティカル体だけだからです；ノエティカル体は完全にロゴス的であり、サイキカル体はロゴス的および感情、気持です。

Page2

Ｑ：例えば誰かが健康でない場合、それはその人が進歩成長していないということですか、なぜなら良い健康を意味するセンターはまた意識のセンターだということなので。

Ｋ：あなたは肉体のステートとサイコノエティカル体のステートについて混乱しているようです。

事故または病気はその身体のサイコノエティカル的な結果ではありません。それはそのパーソナリティーがそれ自身およびその周囲に与えている体験にすぎません。

　非常に高いレベルの気づきにある人間のなかには、唯一の目的だけのために生まれて来る場合があります…自分自身が何かを得るためではなく、周囲の人々に体験を与えるためだけに生まれてきます。無数の多くの転生と比較したら1回の転生など何でもありません。それはほとんどゼロに等しいものであり、大変なことで時間の無駄であるなどとみなされるべきではありません。もちろん、私たちは自分の肉体の世話をすべきです、なぜならそれは私たちのものではなくて、世話をするために与えられた聖霊的な贈り物だからです。

　それゆえに睡眠は必要なのです、それによってそのパーソナリティーが肉体を去り、その間アークエンジェルたちが必要な修復をすべて行うためです。もちろん、アークエンジェル達と共に聖霊も一緒に働きます。そして起きている時に他の人々を助けるために生じた損傷を修復するのです。勿論、だからといって、その人が助けた人に痛みが戻されるわけではありません。

Ｑ：エクササイズに関して、何かガイドラインを与えて貰えますか？

Ｋ：フォーカス（＊集中力）をコントロールできる能力を得て、また小さなエゴに邪魔されないぐらいに自分自身をコントロールできるようになった時には、私のアドバイスはエクササイズを非常にゆっくりと行うことです。それはその人のコントロール能力が高くなったことを意味します。あなたがエクササイズを速くする時、**それはエゴがあなたをコントロールする時間を与えないということになりますが、**しかし最終的にはあなたはコントロールする能力を得ることを目指すべきです。

　エクササイズは非常に重要ですが、しかしそれをテクニカルな手段とみなすべきではありまません。エクササイズにはただ一つの目的があり：それはあなたが受け取った知識を実践できるようになることです。

前に述べたように、神に対する最も真剣な祈りとは日常生活において同胞の人間たちに対する態度、行動です。特に私たちの個人的な利害が関わっている時に；そのような時に私たちの気づきのレベルがはっきり示されます。

　私たちは常に小さなエゴを闘わせないようにと忠告します；なぜならそれは２つの小さなエゴの中のより強い方が勝つからです。私たちは常に徐々に自分の行為、行動が変わるのを助けるために示唆を入れるべきであり、エンドスコピーシスに働きかけ、自分の行動を観察すべきです。

Ｑ：なぜ１つではなく２つのエゴがあるのですか？理解できません。

Ｋ：**パーソナリティーは二元性であり、２つの小さなエゴから構成されています。**

**初めはそれら２つは１つであり、そのような状態ではそのパーソナリティーの現れは他の動物たちの現れと同じで、罪悪感もまったくありません；**

罪悪感は小さな２つのエゴに分かれた時に生じます。最初はそれら２つの中心はまったく同じですが、転生、経験を重ねるに従って１つは前と同じ場所に留まりますが、もう一つはLifeのスパークに向けて移動し始め、その時に初めて罪悪感が芽生え始めるのです；そのパーソナリティーは考えることを始め、想念、思考というフォームを形成します。これはエレブナのみにおいて見いだされることです、なぜなら他のシステムではパーソナリティーを小さなエゴ、そしてLifeを大きなエゴとみなしているからです。

　ですから、パーソナリティーとは２つのエゴであり、１つは他より小さくなり、より大きな方がLifeのスパーク（それはそのパーソナリティーのロゴス的ステートであり、実際に魂です）へと徐々に移動します。悪い行動の結果として、意識の激痛、うずきが生じ、そのパーソナリティーはその行動を変えるようになり、その結果**２つのエゴの中のより大きなエゴがさらにLifeの方に進んでいきます。**

　**もしより大きな方のエゴがさらにもう少し移動すると、より小さなエゴをも引っ張っていき、それが起きると、現在のパーソナリティーをスパークから分離させていた影がどんどん小さくなります。**つまり、そのパーソナリティーはもっともっとLifeそれ自体から表現するようになります。

これら２つの小さなエゴはサイコノエティカル体を意味します。

現在のパーソナリティーとは活性化された何かであり、Lifeそれ自体ではありません；今のところはそのパーソナリティーはアイコンであり、そのパーソナリティーを活性化させたものとは異なり、アイコンに過ぎません。しかし、私たちは現在のパーソナリティーとしてのこの現れを、Lifeのスパークと同じレベルにもってくる必要があります。

Page3

Q：もし私の理解が正しければ、そのアイデンティティー、私というもの、永遠のアトム、最内奥のセルフ、スパーク…それらは皆同じものを意味しますか？

K：違います。それらは同じではありません。

LifeのスパークとはLifeそれ自体であり；

永遠のアトムは現れであり、それはLifeと同じではありません。Lifeはアガピであり、無条件の愛であり、絶対真理であり、意識(Consciousness)。それがLifeです。しかしLifeから他の多くの現れがありますが、それらはLifeではありません。

Q：アイデンティティーと私であること(I’ness)の違いがわかりません。

Ｋ：何がパーソナリティーにアイデンティティーを与えますか？肉体のなかにいる間に各パーソナリティーはそれぞれ異なった体験をし、その結果誰か他の人のI’ness　とは異なったアイデンティティーとなります。それは元来、異なっている､別々のモナドですが。

Ｑ：私たちが一つのアークエンジェルと会う時、それら全てのアークエンジェルと会うことになると言います；もし私たちが学べば、私たちはそれら全てを学ぶことになります。私は守護大天使について考えています。なぜなら現在のパーソナリティーに付き添っている守護大天使には個別性があるのではと思うのですが。

Ｑ：あなたがある特定のオーダーの一つのアークエンジェルと会うと、そのオーダーの全てと会うことになります。各オーダーの間の違いは、彼等が現している光、輝きであり、それが創造界において彼等に与えられている仕事を決めます。しかし、その違い以外は全てのアークエンジェル達は同じようなものです。それがどのオーダーに属していようと、また人間のイデアからのアークエンジェルであろうと。人間のイデアからと言うとき、それは魂のセルフエピグノシスを意味し、

魂のセルフエピグノシスは人間のイデアを通じたアークエンジェルです。

　さて、人間のイデアを通じたアークエンジェルについて、その輝き、光は全てのアークエンジェルの全てのオーダーを含みます。なぜなら、そこにはプログラムされたセルフエピグノシスはなく、活動についての自由意志があるからです。さもないと、仕事を達成することができず、自分の個別性を認識するステートに到達できません。

Ｑ：各アークエンジェルのオーダーから投射されたエンジェルたちは、その特定の輝きを認識しているのですか？

Ｋ：はい、そうです。そしてさらに彼等は永遠のエレメンタルです。

地との関連にもかかわらず、サミュエルもまたエンジェルです。彼等は原因結果の法則のアークエンジェルであるルシファーによって投射され、彼等は人間の無知に奉仕します。彼等自身は純粋です。何であれ神からのものは純粋ですが、しかし私たちが地のエレメントの中で生み出すものは純粋ではありません。なぜなら、私たちは地のエレメントにフォーカスするからです。そうです、

**何であれ神からのものは純粋であり、悪魔であるとみなされているアークエンジェルのオーダーでさえ純粋であり、実際には光です。**

**ルシファーという言葉は何を意味しているでしょうか？それは光を意味し、現在のパーソナリティー、人間に任命されています。このオーダーは人類がその仕事を達成するように大きな助けを与えています。**

Ｑ：私たちはそれらに（＊ルシファー）フォーカスすべきではないとあなたは言いましたが、しかし私たちは感謝すべきなのですか？

Ｋ：なぜなら、彼等は対立するものへの奉仕者である、と信じられていますが、実際にはそうではないからです。私たちが対立を生み出し、私たちが否定性を生み出しているのですが、彼等は私たちを避けることはしません。なぜなら、もし彼等が私たちを避けるなら、私たちは目的を達成することができないからです。経験を通じて目的に達成できるのです。ルシファーのオーダーはそれ自体がディバインの黙想に奉仕しており、神に奉仕しています。神をジャッジする私たちとは一体何者でしょうか？

　しかし、私たちは無知なシステム（＊他の霊的な教えなど）に注意する必要があります…それらのシステムはオーダーに関して無知だからです。そして昔からそのようなシステムはいわゆる悪魔崇拝を形成してきました。しかしそれを行ってきたのは人間であり、オーダーそれ自体ではありません。

　それらのシステムに対して私たちは真っ向から反対します。不可視のヘルパー達はそれらに対しても働かねばならず、無知に奉仕するそれらのエレメンタルを非活性化させるのです。そして残念ながら、多くの場合、彼等は非常に強いのです、なぜなら彼等は人間にフォーカスしているからです。それらのエレメンタルが恐れている唯一のものは光であり、彼等は光には太刀打ちできません。

Q：例えば、あなたが言ったように、昼間なら私たちは否定性を支配し、立ち向かうことができます。しかし私たちが無意識になっている時にはどのようにしてそれらの否定的フォースに立ち向かうことができるのでしょうか？

K：あなた方はそれらについて心配する必要はありません。いつも守られています。光に奉仕する者は何も恐れる必要はありません；それらのフォースはそれらをまったく害することはできません。

　探究者は自分の部屋の中で守られているべきです。なぜなら、ネガティブなものに対して、そして私たちに痛みをもたらす上で責任があるのは私たち自身の無知だからです。それは神ではありません。神はその人の現れがどのレベルであろうとも誰をも平等に抱きしめます…なぜなら神は全ての人の内側にいるからです。もし悪魔が私たちの内側から、そして私たちのマインドから来るなら、それらはすでに私たちの内側におり、それは私たちの思考です。

　それが最も困難な状況です。ですから皆さんは他の誰でもなく、自分自身の無知を恐れるべきです。その人自身が創造したもの、つまりエレメンタルによって苦しんでいる当人を助けるのは、不可視のヘルパーが助けを与える上でもっとも困難なケースです；何であれ外側からの介入が原因で苦しんでいる場合は、ずっと簡単に助けを与えることができます。しかしシールドの中で問題を作りだしている人を、どのようにしてシールドで守ることができるでしょうか。唯一の助けは、そのパーソナリティーに直接的に働きかけることです。

レッスン PYR No.77 エクササイズ No.1

目を閉じて静かに座ります…心を騒がせるもの全てを解き放ちます。真っ白な自分を見、そして自分の形の境界を感じます…

　四面ピラミッドのヒポスタシス（＊状態）を与え…しかし同時に三面ピラミッドと五面ピラミッドのヒポスタシスも与えます…あなたは同時にこれら3つのピラミッドの中の中心にいます…これら3つのピラミッドからの色の輝きが周囲にあるのを見ることができます…

　四面ピラミッドに関しては、あなたは正面にある純白のサイドに面しており…赤い輝きのサイドは右側、ホワイトブルーは後ろ側、そしてウルトラバイオレットは左側にあります…

　三面ピラミッドに関しては、あなたの正面にはその角があり、右側がホワイトピンク、左側がホワイトブルーのサイドからなる角で、後ろ側には金色のサイドがあります…

　五面ピラミッドについては、全てのサイドは白ですが、底面に近い方は鈍い白で、頂上に近くなるほど白の輝きがより輝いています…

　それでは三面および五面ピラミッドをあなたから見て右回りに回転させます…あなたは正面にある三面ピラミッドの角と五面ピラミッドの角が一致する角に集中します…（正面の三面ピラミッドの角と五面ピラミッドの角の角度は同じではありません）…

　それではその角を右方向に回転させます…ゆっくりと少しづつ回転し、赤のサイドの方に向かいます…今、赤のサイドの中央に来ました…さらに回転をつづけ、赤とホワイトブルーのサイドに角に到達し、今やあなたの背後にあるホワイトブルーのサイドの真ん中に来ました…回転を続け、ホワイトブルーとウルトラバイオレットのサイドの角に来て、今ウルトラバイオレットのサイドの真ん中に来ました…さらに回転を続け、ウルトラバイオレトと白のサイドの角に来ました…さらに移動を続け白のサイドに真ん中に戻り、そこで停止します…あなたはずっと白のサイドに面して立っていました…回転するのは三面および五面ピラミッドだけです…

　それではもう一度行います…

　あなたの前には前と同じように三面ピラミッドと五面ピラミッドの角が来ていて、それらの角が右の方に移動します…まず白のサイドと赤のサイドからなる角に到達し、そして赤のサイドの中央に到達し…さらにゆっくりと赤とホワイトブルーのサイドの角に来ます…さらに移動してホワイトブルーのサイドの中央に到達しました…さらに移動してホワイトブルーとウルトラバイオラットのサイドに角にきました…徐々にゆっくりとウルトラバイオレットのサイドの真ん中に達しました…更に回転を続け、ウルトラバイオレットと白のサイドの角に来て…今や白の光のサイドの真ん中に戻ってきました…このように回転することによって、円錐形の一面ピラミッドが形成されました…

　それでは、あなたの部屋の中で行ったこのワーク、この特定のサイクルをマスターするための助けとなるそれらの法則を意味するこれらのシンボルを使用したワークが、あなたに結果をもたらしてくれることを願います…そしてこのワークを今後も続けることを自分自身に誓います。終わります。

Page5

Q：円錐も法則を意味するのですか？

K：それは一つの法則です、しかし円錐は他の諸法則をマスターした結果であり、何であれそれが与えるものは三面ピラミッドの結果です。三面ピラミッドは何であれLifeからのものを意味し、それは特定のサイクルをマスターした時にLifeから現在のパーソナリティーに与えられます。三面ピラミッドは何であれLifeからのものを意味します。三角形はLifeそれ自体を意味します。

　それゆえに、生命の木では3つの大きな三角形があるのです；絶対存在、汎宇宙的キリストロゴス、そして自己実現のステートにある（それはキリスト意識を現していることを意味する）現在のパーソナリティーです。

　ですからLifeのシンボルは三角形であり、三面ピラミッドは関係するそのサイクルのレベルを意味します。4番目のサイクルでは、あなたはLifeが提供する全てをマスターし；5番目のサイクルでは勿論同調を使う能力が加わります。そのパーソナリティーは真の五感を使用し、二元性を背後にし、そこでは1つのセンターだけがあり、それはハートのセンターであり、それはLifeであるアガピの太陽です。

　その時初めて、人は他の同胞の人間達に対してアガピを現していると言うことができるのです。それ以前のレベルでは、レッスンで述べたように私たちは人間が表現することが可能な様々な形態のエロティズムを通過します。Lifeには現れのレベルというものはありません；それはレベル、段階ではなく、それはLifeの現れであり、それこそがアガピなのです。

Q：寝ている時にたくさんの夢を見ることはアークエンジェル達の仕事の邪魔になりますか？

K：静かな状態で、気持の良いことを考えながら眠りにつくことを目指すべきです。睡眠が妨げられると、そのパーソナリティーのエネルギーが枯渇し、何であれアークエンジェル達が築いたものが燃え尽きてしまします。

ですから、眠りにつく直前に、心地よい暗示を潜在意識に入れることを薦めます。自分自身が喜ぶことのできる場所にいるのをイメージします、良い気分になるものをイメージし、そのようなことを視覚化しながら眠りに入ります。

Q：睡眠薬はアークエンジェルの仕事に影響を与えますか？

K：薬はアークエンジェルの仕事の邪魔はしません。薬を拒絶すべきではありません。それは人間が得られる主要な助けです。何であれ一般の医学によって与えられるものは助けになる可能性があり、一般の医学では与えることのできない助けは、霊的ヒーリングの仕事となります。

　ですから、私たちは現代からの助けを拒絶すべきではなく、これはあらゆることに関しても言うことができます…人類は絶えず進歩しており、静止しているのではありません。しかしだからといって、過去の何かが今では効果がないということではありません；過去の知識から与えられる助けを過小評価すべきではありませんが、しかし現在の知識を過小評価すべきではありません。なぜなら、人類は前進しており、絶えず成長しているからです。

Q：全ての胎児において、現在のパーソナリティーとしての生命は最初の呼吸と共にスタートする、と言うのは正しいですか？

K：はい、それはそのパーソナリティーが肉体とつながる時です…その肉体はその特定のパーソナリティーのために聖霊的に築かれるわけですが。そのパーソナリティーとのつながりは、そのパーソナリティーのために肉体が築かれ始める時からスタートします。そのパーソナリティーは指定され、いわばコンタクトが取られ、聖霊的に肉体が築かれ始めるのです。しかし実際にそのパーソナリティーがその肉体とつながるのは最初に呼吸をした時からです。しかし、心臓は胎児の時から鼓動しています。どの両親の元に、何処で生まれるかという決断は、その特定のパーソナリティーと関係している他の魂のセルフエピグノシス及び他の諸法則との関係によって、Lifeのスパークによって決められます。それはディバインのメカニズムであり；新しいパーソナリティーに可能性と体験を提供するいわばコンピューターです。

Page6

Q：最初の息の前に堕胎が行われた時はどうなるのですか？

K：そのパーソナリティーは再び生まれ直すでしょう。しかし、絆が非常に強い場合には、そのパーソナリティーは堕胎されても、再びその両親のもとに生まれて来るでしょう。

レッスン PYR No.77 エクササイズNo.2

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見て…自分の形の境界を感じます…

　あなたは今､外で立っています…回りに多くの樹木があるところに立っています…周囲にあるのは低木ですが、遠くには背の高い木々も見えます…とても素晴らしい場所です…低い樹木の間には美しい花々が見えます…野原に咲いているような野草の草花があります…

　目の前にある木々の方を見ると、遠くには多くの野鳥がさえずっているのが聞こえます…それはメロディーのように聞こえます…目の前の木々から聞こえてくる鳥のさえずりを邪魔するものは何もありません……それらの木々には沢山の小鳥たちがいます…あたかもあなたのために唄っているかのようです…そのメロディーがあなたに影響を与えます…聞いているととてもリラックスし、うっとりとして､身体が軽くなるように感じます…身体が浮き上がるような感じがし、地面に立っていないような感じです、それを感じます…

　そのように感じている結果、身体が浮き上がり、身体が上昇するのを感じます…それを感じます…もはやあなたは地面に立っていません…今や、木々のてっぺんよりも上に上昇しました…そしてこのポジションから周囲を見回します…すると様々な種類の動物たちがあたりを歩いているのが見えます…そして動物たちの鳴き声も聞こえ、それはオーケストラを聞いているようで、このオーケストラの邪魔をする音はありません…それは非常に美しく、周囲の景色も非常にきれいです…

　別の音がこのオーケストラに加わってきました…それは流れる水の音です…とても素敵な音で、その流水の音があなたの注意をより一層引きつけます…水の流れを見たいと思い、その音が聞こえる方へと空中を移動します…すると木々の間に大きな川が流れています…そしてその川が滝となって下の方に落下していて、それは滝の音だったのです…とても素晴らしい音です…水が流れ、小さなプールのようなものが形成され、少し上流の方には小さな魚が見えます…それがどんな魚なのか知りたいと思うと、そう思う結果として、あなたの意識は水面近くに移動するのを感じます…そして今あなたは水面から60センチぐらいのところにいて、その位置からは水の中にいる魚が見えます…そして水の中で何が起きているのか見ようと思ったとたんに、それらの魚があなたを見上げます…魚たちはあなたが見ているのを感じたのです、その魚たちの小さな目があなたを見ているのが見えます…様々な色の魚がいて、とてもきれいです…魚たちはあなたを見て、あなたに笑顔を見せています…魚たちは多くのアガピと共にあなたを見ていますが、同時にあなたも魚たちに向けて多くのアガピを現します…そこでは全てがとても美しいのです…あなたは幸せを感じ、喜びに満ちています…そして周囲の自然も喜びに満ちています…

　これからも多くのそのような体験が得られることを願います…そして全ての人間がそのような体験と出会うことを願います…全ては非常に美しく…Lifeはとても美しいものです…そして自然のなかでは全てがとても美しいのです…

　最愛のお方のアガピと祝福があなたに、あなたの愛する人々に、あなたの家庭に、そして世界全体にあることを願います…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

EREVNA PYR 77 KE08/S4/12/07